

Engineer Support Company

Make Value!



'22年1月期 第2四半期 オンライン説明会

2021年9月22日



— Create the Future —

ARTNER



- 1 会社概要 P3
- 2 第60期（'22年1月期）第2四半期 決算概要 P19
- 3 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） P29
- 4 第60期（'22年1月期）業績予想、配当予想 P36
- 5 参考資料 P41

1

会社概要

P3

2

第60期（'22年1月期）第2四半期 決算概要

P19

3

中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期）

P29

4

第60期（'22年1月期）業績予想、配当予想

P36

5

参考資料

P41

■ 社 是

精神の追求

智識の追求

創造の追求

■ 経営理念

「エンジニアサポートカンパニー」

－ 私達は技術者の夢をサポートします －

人をつくり 技術を育み 技術者を通じ社会に貢献し
全従業員の幸福と会社の反映を目指します

■ 社名の由来

ART
より優れたクオリティを
追求する「Art」

+

ARTNER

+

PARTNER
顧客の信頼に応える
「Partner」

1953年～

- 1953年兵庫県尼崎市にて
有限会社関口興業社として創業



創業

- 設計部門より設計図面を
預かり「白焼き」「青焼
き」で複写・製本



- 設計部門に頻繁に出入りする



- 阪神工業地帯の重工業
メーカーに対して「工業
用手袋」の販売・製造

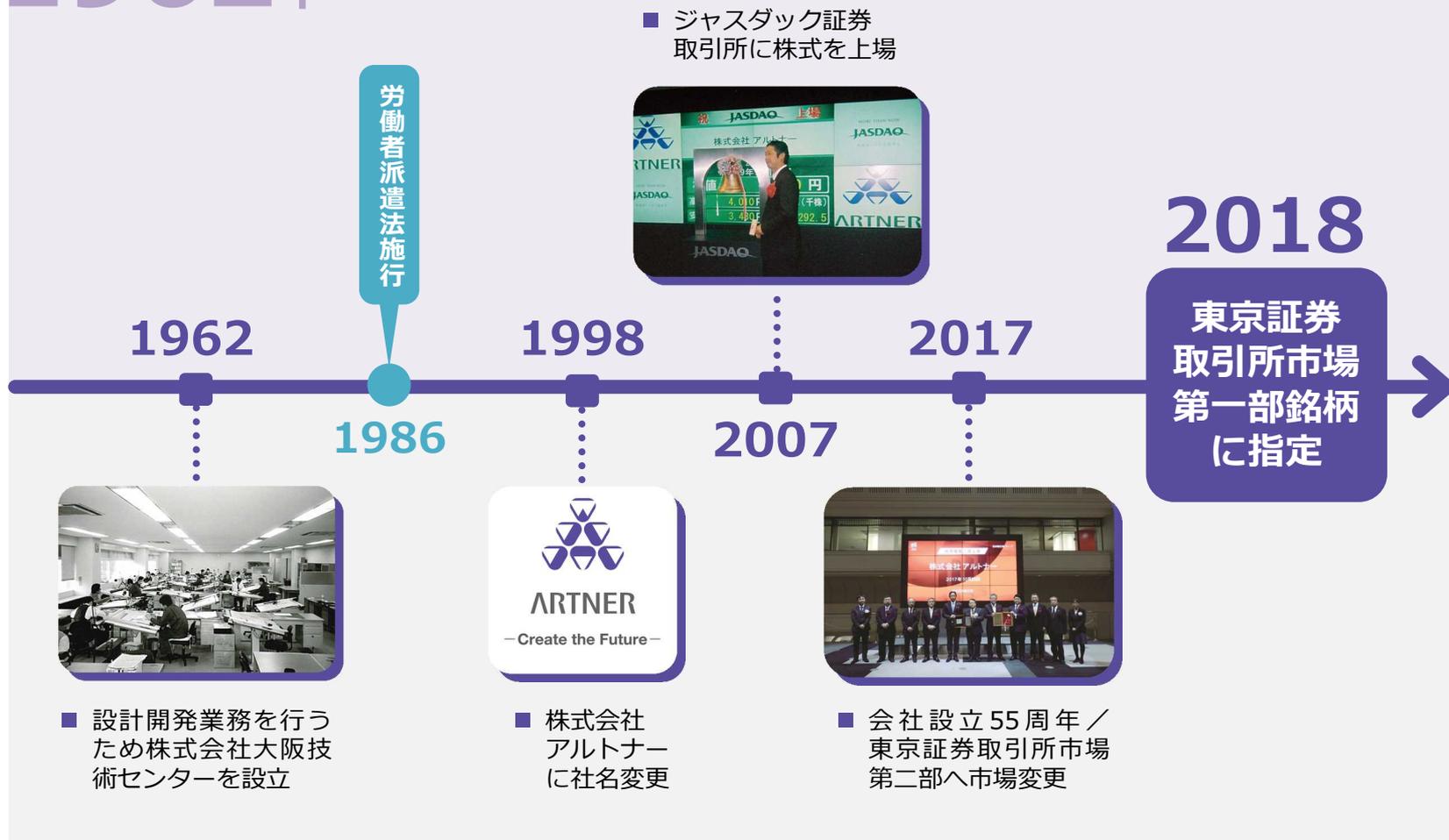


- 理系社員を雇い設計図面
のトレース業務を始める



- トレース業務だけでなく、
設計開発業務の需要が高
まる

1962年～



本 社 東京／大阪

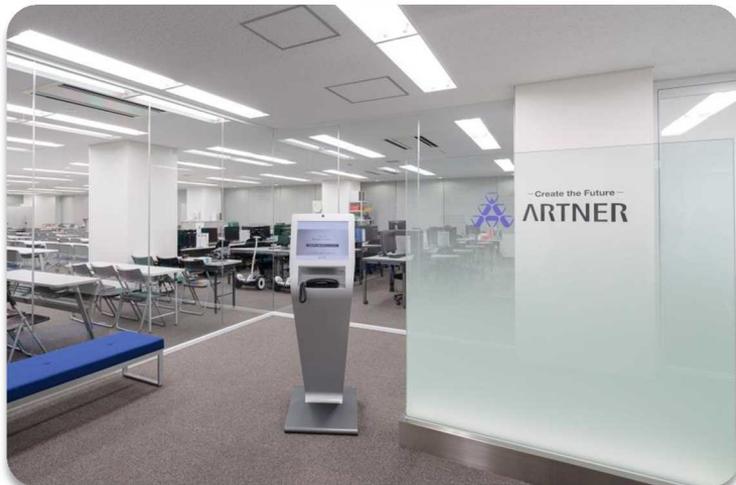
事業拠点 横浜／宇都宮／大阪／名古屋

研修拠点(LC) 東日本／西日本

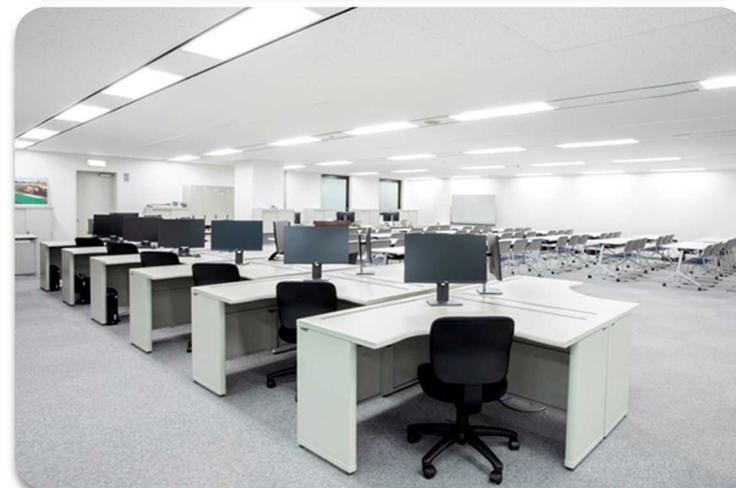
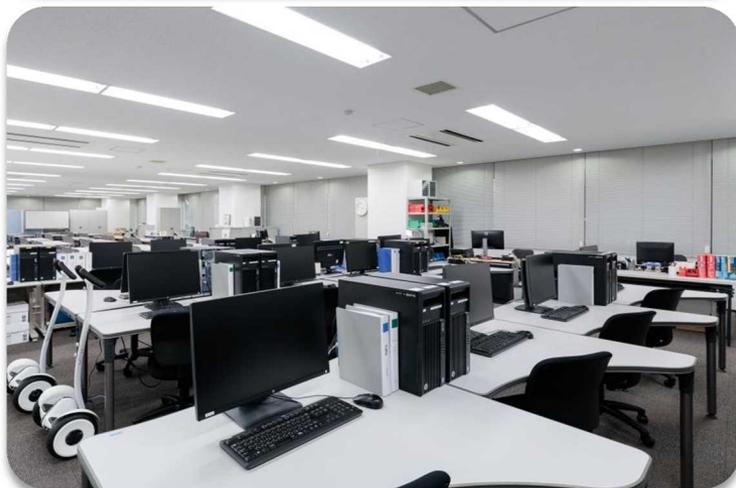


西日本LC(2019.1.15移転)、東日本LC(2020.3.2スタート)

西日本 LC

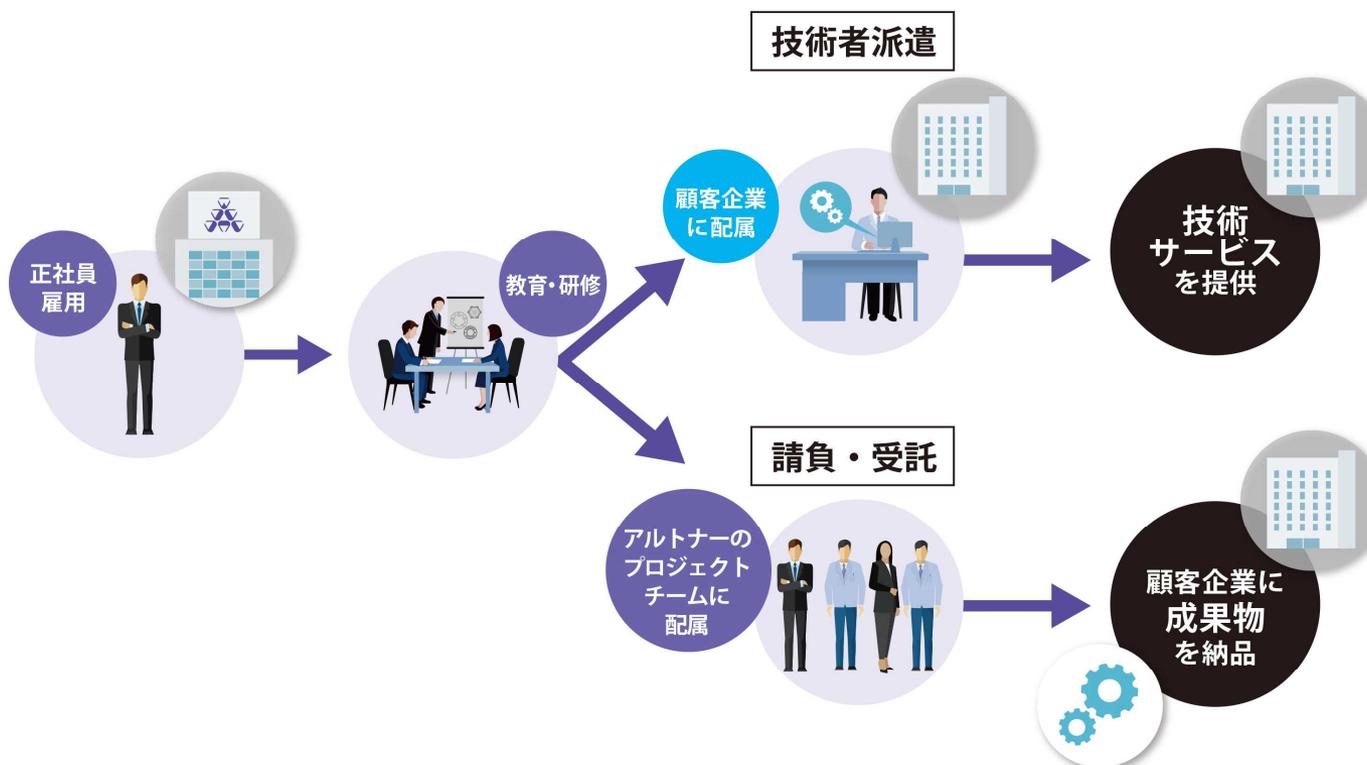


東日本 LC

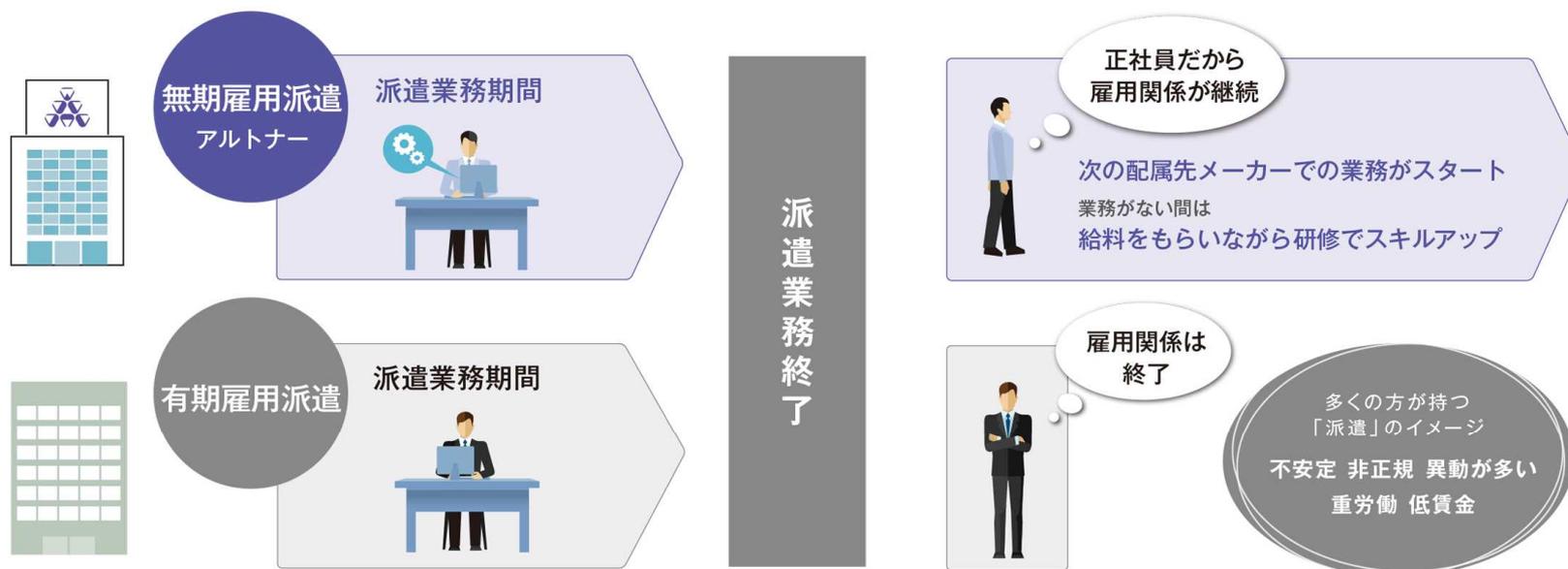


<https://www.artner.co.jp/>

- 理系(工学部、理工学部、理学部、情報工学部)の大学生、大学院生、高専生、専門学生を正社員雇用。教育・研修を実施後、顧客企業または当社チームに配属
- 研修スタッフは、経験豊富な技術者出身
- 顧客企業は、輸送用機器、電気機器、精密機器メーカー



- アルトナーの雇用形態である「無期雇用派遣」のエンジニアは「正社員雇用」されているので、1つの派遣業務が終了しても雇用関係は継続。



■ 入社後は「一般研修」「社外実務研修」「基礎研修」「カスタマイズ研修（応用研修）」というプロセスを経て、メーカーのプロジェクトに配属。配属後も「キャリアサポート講座」により、顧客企業への細やかな対応力を養う。





機 械

対応分野

機器装置/機構/
樹脂板金/解析

2D CAD・3D CAD
を使用して、機械
が動く仕組みの設
計を行う。



電気・電子

対応分野

電気機器/
電子回路/半導体

機器や装置の心臓
部となる回路基板
設計、電子系の信
頼性評価業務を行
う。



ソフトウェア

対応分野

制御ソフト

技術開発が進むク
ルマ、IoT機器を
含むCPUを持つ電
子機器を動作させ
るソフトウェアの
開発を行う。



ソフトウェア

対応分野

情報処理

システム・アプリ
開発、Web・オー
プン系のシステム、
パッケージソフト
の開発を行う。

■ 安定した経営のため、幅広い業種の顧客企業と取引。

輸送用機器

SUBARU、トヨタ自動車、日産自動車、本田技術研究所 他

電気機器

オムロン、ダイキンレクザムエレクトロニクス、パナソニック 他

精密機器

島津製作所、テルモ、ニコン 他

機 械

小松製作所、ジェイテクト、瑞光 他

情報・通信

日立ソリューションズ・テクノロジー 他

株式一部・二部上場企業及び優良中堅企業 取引実績約400社

自動車



機 械

- 車体設計開発
- 信頼性試験

電気・電子

- ECUの企画設計
- ワイヤハーネス電源回路

ソフトウェア

- 自動車メーター、カーナビゲーションシステム、ドライブレコーダーの制御ソフト開発

エコカー



機 械

- エコカー充電器の開発
- リチウムイオン電池の開発
- 駆動用モーターの開発

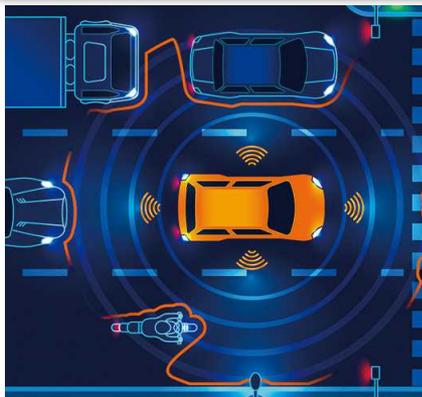
電気・電子

- 次世代燃料電池の研究開発
- ハイブリットシステム設計
- 車載電池の安全性評価

ソフトウェア

- ブレーキ制御システムの開発・評価

先進安全自動車 (ASV)



電気・電子

- 駐車支援システム（自動ブレーキ、アクセル制御等）の開発
- レーンキープアシスト（ステアリング補助等）の開発

ソフトウェア

- 安全運転支援システムの研究開発
- カメラ画像による自動周辺監視システムの先行開発

自動二輪車



機 械

- フレームの設計開発
- 外装部品の設計開発
- 電動バイクの設計開発

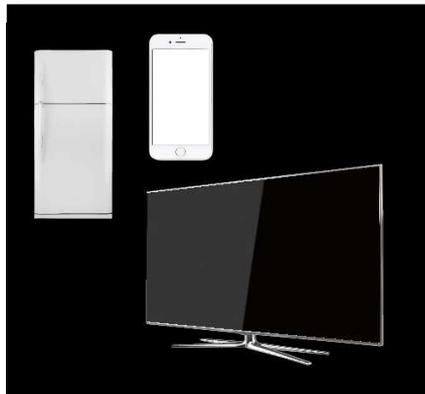
電気・電子

- 電気配線用ハーネスの設計

ソフトウェア

- ブレーキ開発のためのテストソフトウェア開発
- デジタルメーターのソフトウェア開発

家電機器



機 械

- 白物家電の設計開発（筐体設計、構造設計）
- カーナビゲーションの開発

電気・電子

- スマートフォンの基板の試作・評価・解析
- AV機器の回路設計

ソフトウェア

- エネルギーシステムの開発
- iPhone向けアプリケーション開発

医療機器



機 械

- PETシステム開発
- 輸血・輸液セットの改良、次期セットの設計

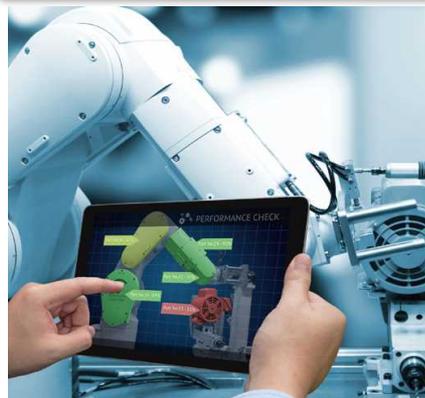
電気・電子

- X線画像処理装置の制御基板の設計開発
- 内臓脂肪測定装置の評価

ソフトウェア

- 歩行アシスト機器の研究開発
- 血液脈波測定器の研究開発

産業機器



機 械

- 作業ロボットの設計開発
- 衛生用品製造ラインの設計
- 工作機械の設計開発

電気・電子

- 半導体露光装置の開発
- 生産設備の設計開発

ソフトウェア

- 半導体装置のアプリケーション開発
- 自動改札機のソフトウェア開発検証

航空宇宙機器



機 械

- 航空機関連の試験治具設計開発
- 旅客用AV機器の開発
- 航空機の設計開発

電気・電子

- 人工衛星に関連する検査装置の開発

ソフトウェア

- 次期人工衛星の研究開発
- 人工衛星の無線通信機のシミュレーター開発・評価

メーカーの業務工程に対応する当社の各グループ

- 上流工程は、景気の影響を受けにくいマーケット
- 設計開発のプロジェクトに重点的に配属(特に自動車メーカー)
- 上流工程への配属結果として、技術者単価が高くなる



成果報酬型
の
給与体系



HVグループは、成果報酬型、高水準な報酬のもと、メーカーのトップシークレット且つ、ハイレベルな設計開発を担う。

エリア限定
制度



実務経験3年で、4年目から関東圏、中部圏、関西圏での勤務地のエリア限定が可能。

社内公募
制度



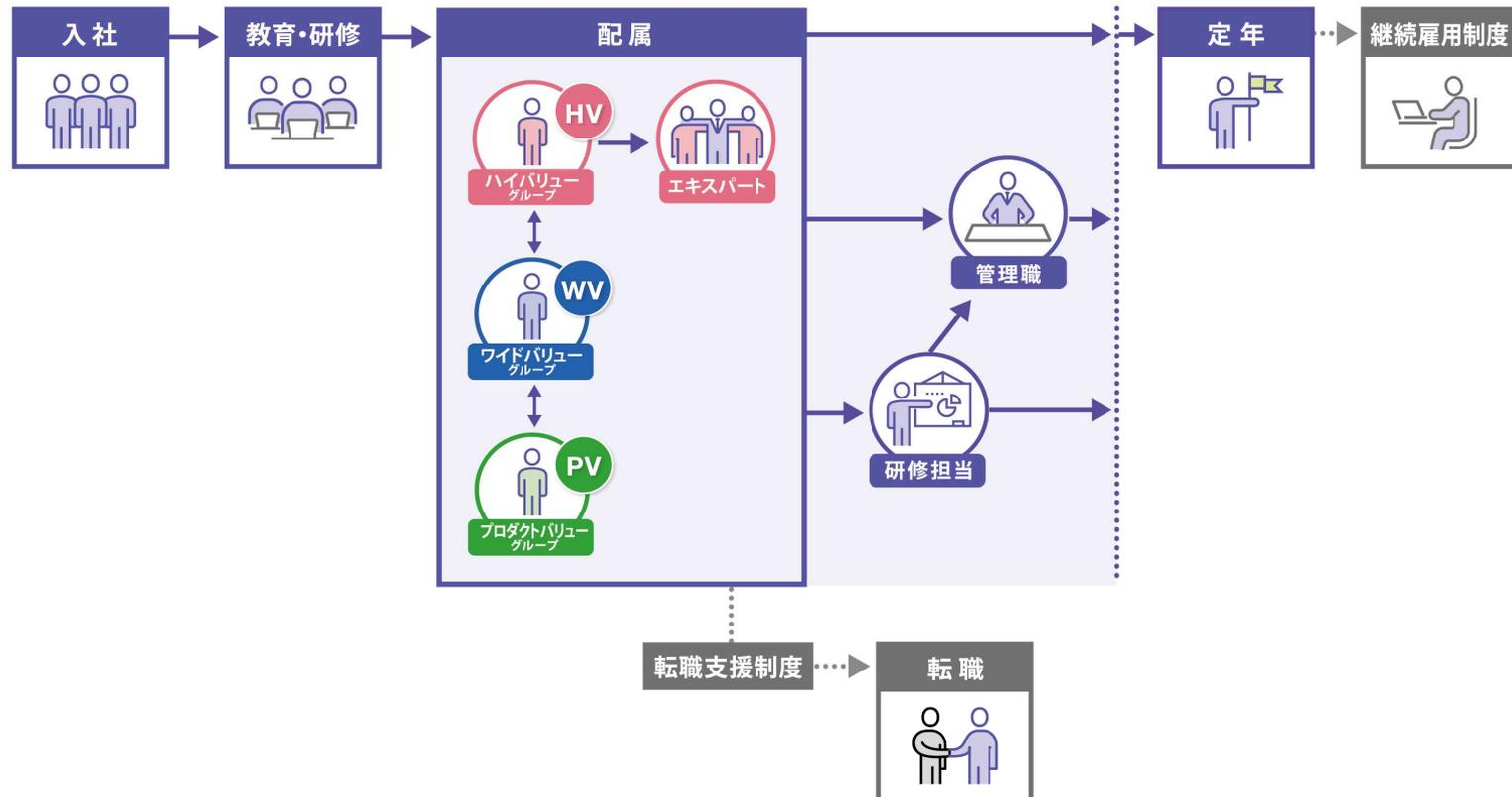
「HVグループ」と「WVグループ」、「WVグループ」と「PVグループ」の間で、所属を変更することが可能。

転職支援
制度



技術者本人が希望して、配属先の顧客メーカーからも要望があった場合、その転職をサポート。また、Uターンで地元に戻って働くための転職をサポート。

- 「ハイレベルな環境でスキルを磨き高報酬を得たい」「地域を限定して働きたい」「地元でUターンしたい」「メーカーに転職したい」等のキャリアパスを用意。



1 会社概要 P3

2 第60期（'22年1月期）第2四半期 決算概要 P19

3 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） P29

4 第60期（'22年1月期）業績予想、配当予想 P36

5 参考資料 P41

市場環境

- コロナ禍の影響により、依然として厳しい状況。
- [自動車業界] CASEや政府の「脱炭素」方針に対応するための電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)等の研究開発が活発。
- [半導体業界] 自動車の電動化、IoT、テレワーク等で使用する電子機器類に必要な半導体、半導体製造装置の設計開発が活発。

技術者派遣事業の状況

- 稼働人員が前年同期を上回る。
 - ・ 技術者数は前年同期を上回る。稼働率は前年同期と同水準。
 - ・ [2020年入社の新卒・キャリア技術者の未配属者]…
上期で配属完了の計画だったが、一部、下期に後ろ倒し。
 - ・ [2021年入社の新卒技術者]…
第4四半期に配属の計画だったが、上期に前倒しで進捗。
- 技術者単価が前年同期を上回る。
- 労働工数が前年同期を上回る。(残業時間の回復)

費用の状況

- 採用活動・営業活動において、スタッフのテレワークを推進したことにより、旅費交通費、会議費等が減少。

第60期（'22年1月期）第2四半期 業績ハイライト

■ 売上高8.9%増、営業利益19.2%増、
経常利益20.8%増、四半期純利益26.3%増。営業利益率14.2%

	'21年1月期 第2四半期		'22年1月期 第2四半期		前年 増減値 (百万円)	前年 増減率 (%)
	実績 (百万円)	百分比 (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)		
売上高	3,654	100.0	3,980	100.0	326	8.9
売上原価	2,246	61.5	2,478	62.3	232	10.3
売上総利益	1,408	38.5	1,502	37.7	94	6.7
販管費	932	25.5	935	23.5	3	0.3
営業利益	475	13.0	566	14.2	91	19.2
経常利益	480	13.2	580	14.6	100	20.8
四半期純利益	332	9.1	420	10.6	88	26.3

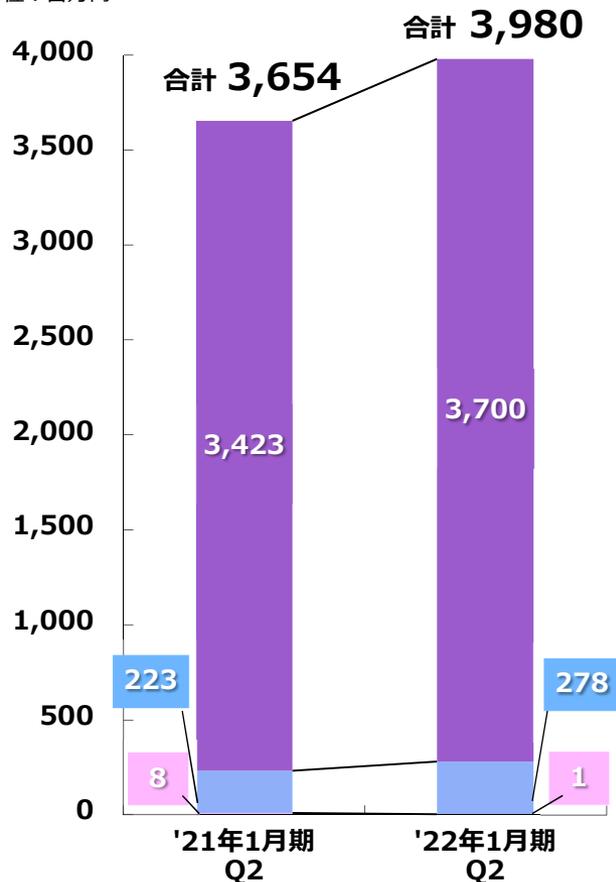
■ 稼働人員が
前年同期を上回る
■ 技術者単価の上昇
■ 労働工数の上昇

■ スタッフのテレワーク
推進により、
旅費交通費、会議費等
が減少

第60期（'22年1月期）第2四半期 事業別 売上高

■ 技術者派遣8.1%増、 ■ 請負・受託24.9%増

単位：百万円

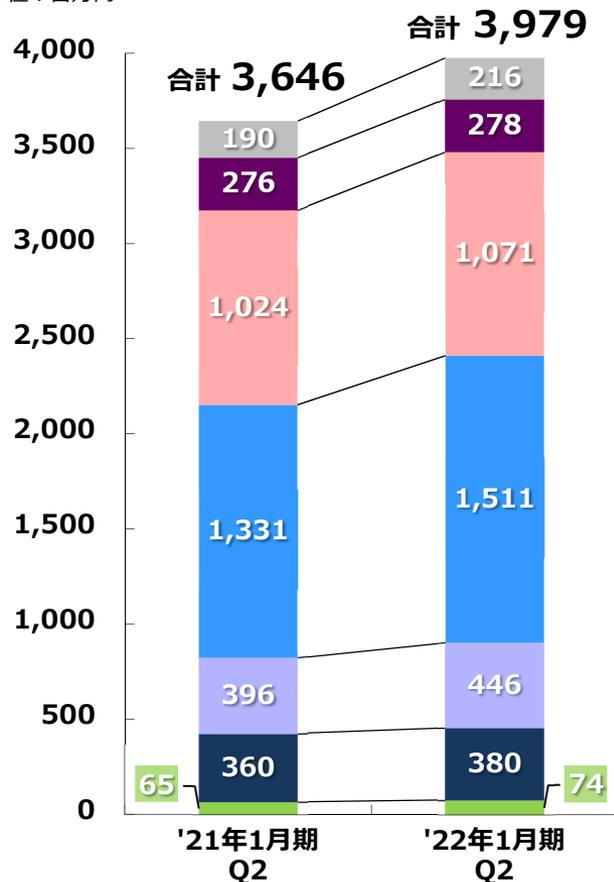


	'21年1月期 第2四半期		'22年1月期 第2四半期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)		
技術者派遣	3,423	93.7	3,700	93.0	8.1	▲ 0.7
請負・受託	223	6.1	278	7.0	24.9	0.9
小計	3,646	99.8	3,979	100.0	9.1	0.2
その他	8	0.2	1	0.0	▲84.9	▲ 0.2
合計	3,654	100.0	3,980	100.0	8.9	—

第60期（'22年1月期）第2四半期 業種別 売上高

■ 電気機器4.6%増、 ■ 輸送用機器13.6%増、 ■ 情報・通信5.4%増

単位：百万円



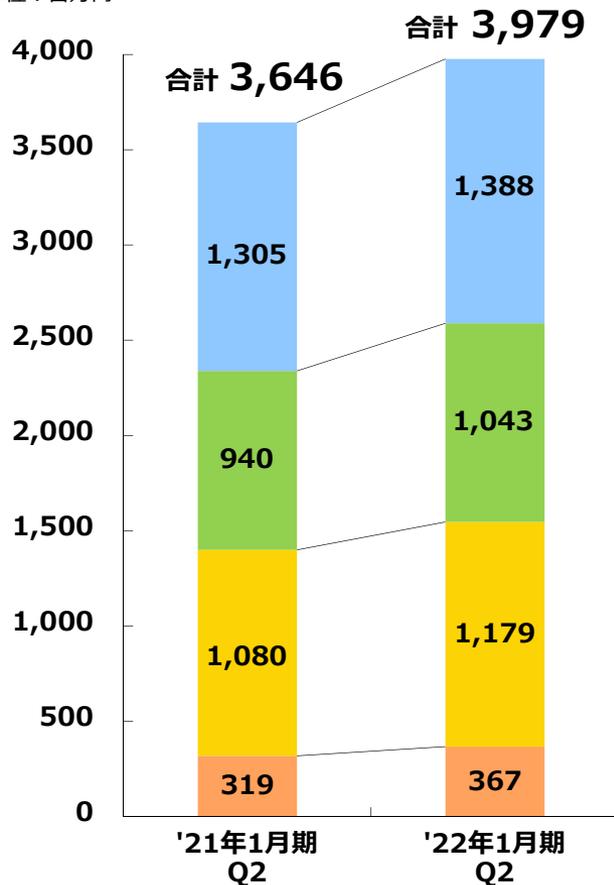
	'21年1月期 第2四半期		'22年1月期 第2四半期		前年増減率 (%)	構成比差異 (pt)
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)		
鉄鋼・非鉄・金属	190	5.2	216	5.4	13.5	0.2
機械	276	7.6	278	7.0	0.9	▲ 0.6
電気機器	1,024	28.1	1,071	26.9	4.6	▲ 1.2
輸送用機器	1,331	36.5	1,511	38.0	13.6	1.5
精密機器	396	10.9	446	11.2	12.5	0.3
情報・通信	360	9.9	380	9.6	5.4	▲ 0.3
諸業種	65	1.8	74	1.9	12.9	0.1
合計	3,646	100.0	3,979	100.0	9.1	—

※「その他」売上除く

第60期（'22年1月期）第2四半期 分野別 売上高

■ 電気・電子10.9%増、 ■ 制御ソフト9.1%増、 ■ 情報処理15.1%増

単位：百万円



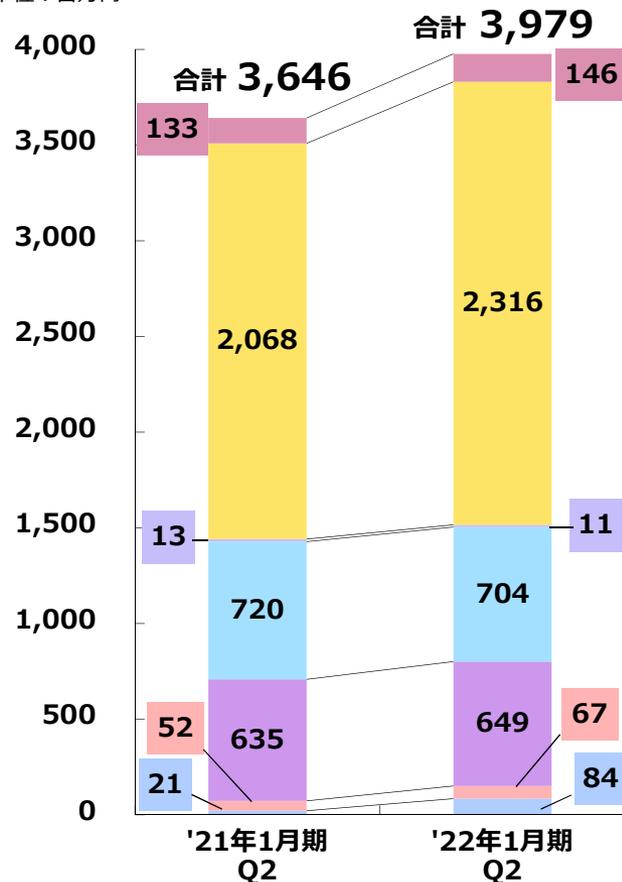
	'21年1月期 第2四半期		'22年1月期 第2四半期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)		
機 械	1,305	35.8	1,388	34.9	6.4	▲ 0.9
電 気 ・ 電 子	940	25.8	1,043	26.2	10.9	0.4
制 御 ソ フ ト	1,080	29.6	1,179	29.6	9.1	0.0
情 報 処 理	319	8.8	367	9.2	15.1	0.5
合 計	3,646	100.0	3,979	100.0	9.1	—

※「その他」売上除く

第60期（'22年1月期）第2四半期 地域別 売上高

■ 関東12.0%増、 ■ 東海2.3%減、 ■ 近畿2.1%増

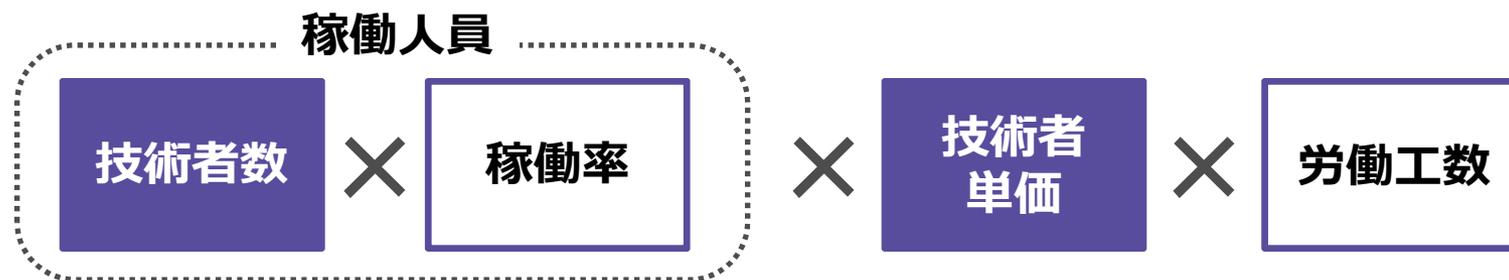
単位：百万円



	'21年1月期 第2四半期		'22年1月期 第2四半期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)		
東北	133	3.7	146	3.7	9.5	0.0
関東	2,068	56.7	2,316	58.2	12.0	1.5
北陸	13	0.4	11	0.3	▲14.1	▲0.1
東海	720	19.8	704	17.7	▲2.3	▲2.1
近畿	635	17.4	649	16.3	2.1	▲1.1
中国	52	1.4	67	1.7	28.6	0.3
九州	21	0.6	84	2.1	296.4	1.5
合計	3,646	100.0	3,979	100.0	9.1	—

※「その他」売上除く

■ 売上高



■ 売上原価 顧客企業に配属中の技術者の労務費等

■ 販売管理費 社内にて教育研修（待機）中の技術者の労務費、スタッフ職の労務費、求人広告費等

利益率向上の2つのポイント

【売上総利益率の向上】

1人当たりの技術者単価の上昇が必要。

【営業利益率の向上】

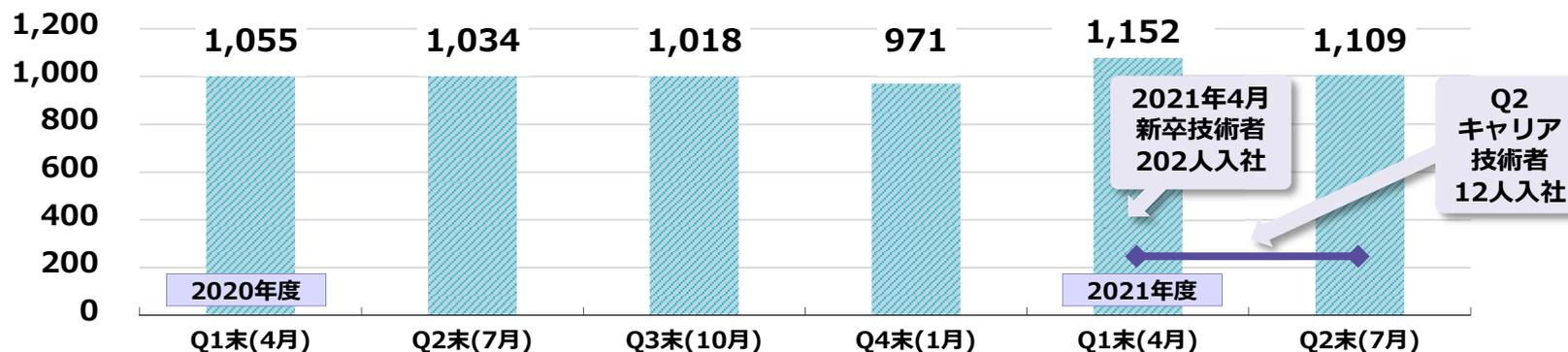
技術者の増員に伴う間接部門の増員を管理効率の向上により抑え、販管費率の上昇を抑える。

第60期（'22年1月期）第2四半期 期末技術者数／稼働率

期末技術者数

'21年1月期(平均)第2四半期	'22年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(人)	前年増減率(%)
996	1,077	81	8.1

単位：人

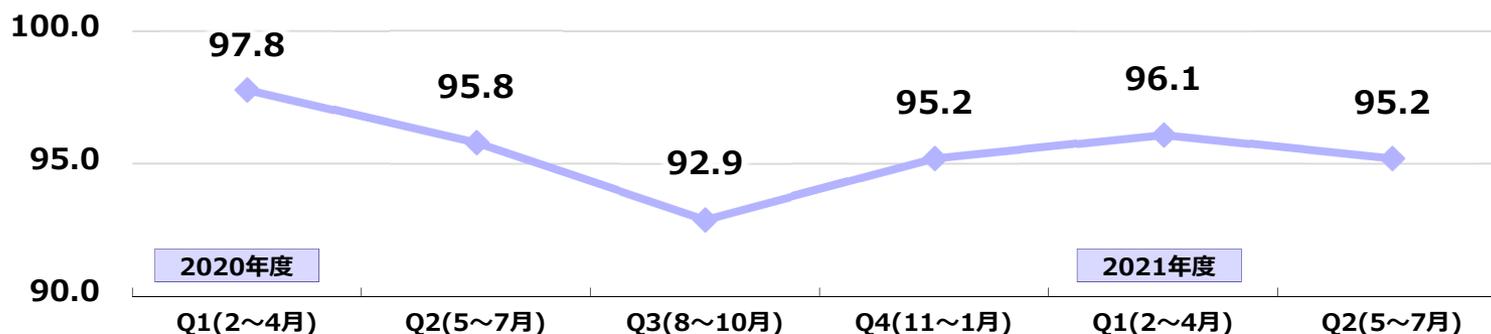


稼働率

※技術者派遣の数値

'21年1月期(平均)第2四半期	'22年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(pt)
96.8	95.6	▲ 1.2

単位：%



※ 新入社員等の期中入社者は、配属までは含んでおりません。

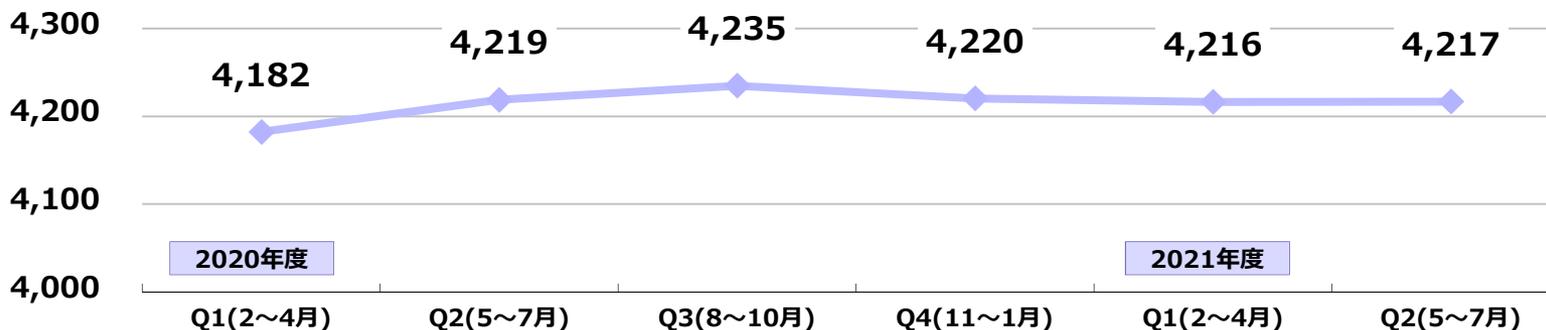
第60期（'22年1月期）第2四半期 技術者単価／労働工数

技術者単価

'21年1月期(平均)第2四半期	'22年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(円)	前年増減率(%)
4,200	4,217	17	0.4

※技術者派遣の数値 ※1人当たり

単位：円／時間



労働工数

'21年1月期(平均)第2四半期	'22年1月期(平均)第2四半期	前年増減値(h)	前年増減率(%)
165	170	5	3.3

※技術者派遣の数値 ※1人当たり

単位：時間／月



1 会社概要 P3

2 第59期（'21年1月期）第2四半期 決算概要 P19

3 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） P29

4 第59期（'21年1月期）業績予想、配当予想 P36

5 参考資料 P41

2022年1月期
(業績予想)

2023年1月期
(計画)

最終年度に
向かう
加速準備

中期経営
計画
最終年度



エンジニアの不足感

継続



コロナ禍の収束時期※

コロナ禍は
継続

収束に向かう



中心となるテーマ・業界

「脱炭素」関連, 自動車業界, 半導体業界

※コロナ禍の収束時期は、現時点では、不透明なため、
2022年1月期の状況を踏まえて、2023年1月期の前提を改めて設定する可能性があります。

基本方針

『 持続的成長および次世代成長のための基盤を構築する 』

『 Make Value ! For the Next 2020-2022 』

基本施策

1 セグメント戦略の推進

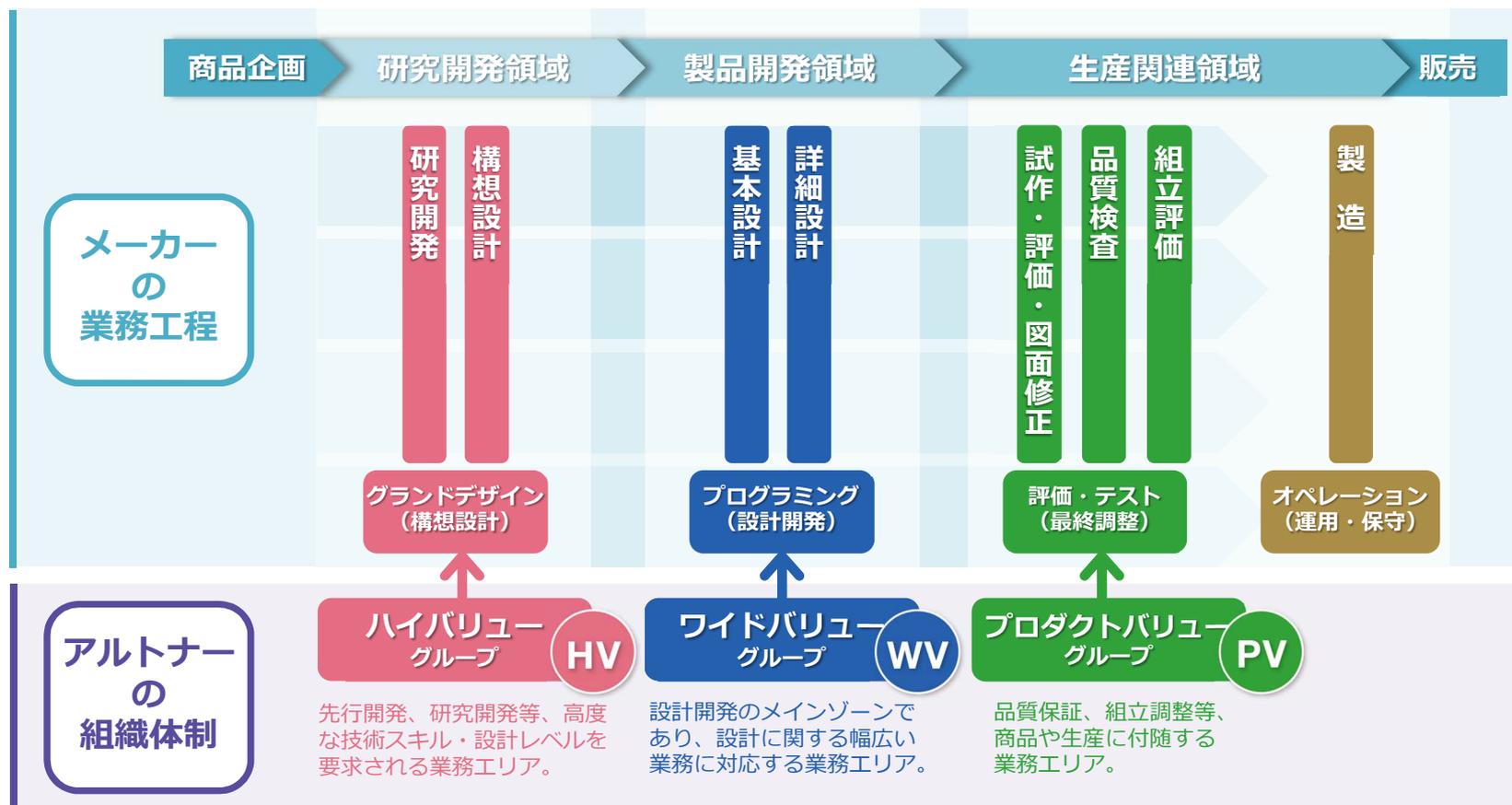
- セグメント別戦略の構築
（採用-教育-配属-制度）
- セグメント別マーケットへの対応の確立
- 新たな専門技術領域の開拓・模索

2 多種多様な人材活用の推進

- シニア・女性・外国人労働者
（留学生）の人材活用
- 協力会社の活用・組織化
（請負・受託体制の確立）

セグメント別マーケットへの対応

- 顧客企業のニーズ、モノづくりの工程での多様化する業務領域に対応するため、3つにセグメント化した戦略を推進し、精度の高いマッチングを実現。



経営数値目標〈2023年1月期（最終年度）業績目標〉

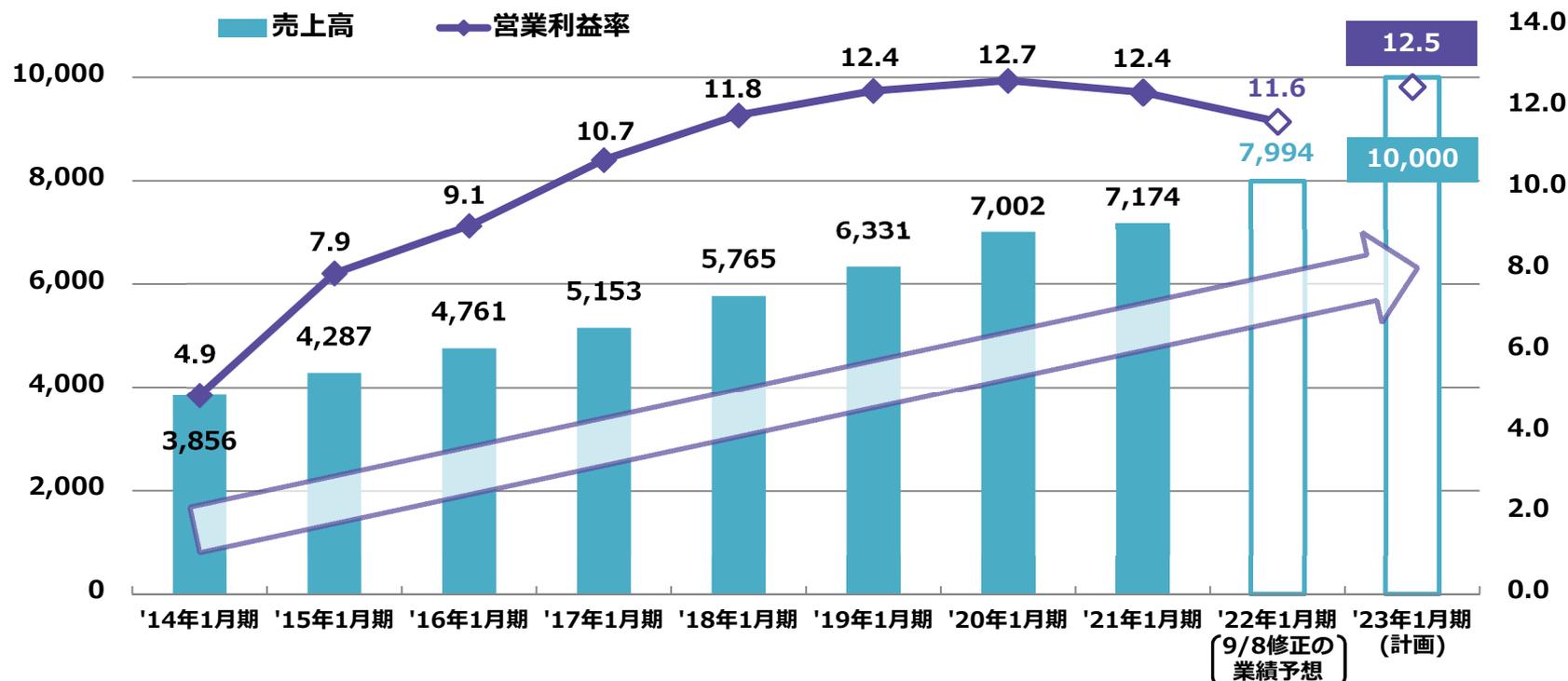
売上高

100 億円

営業利益率

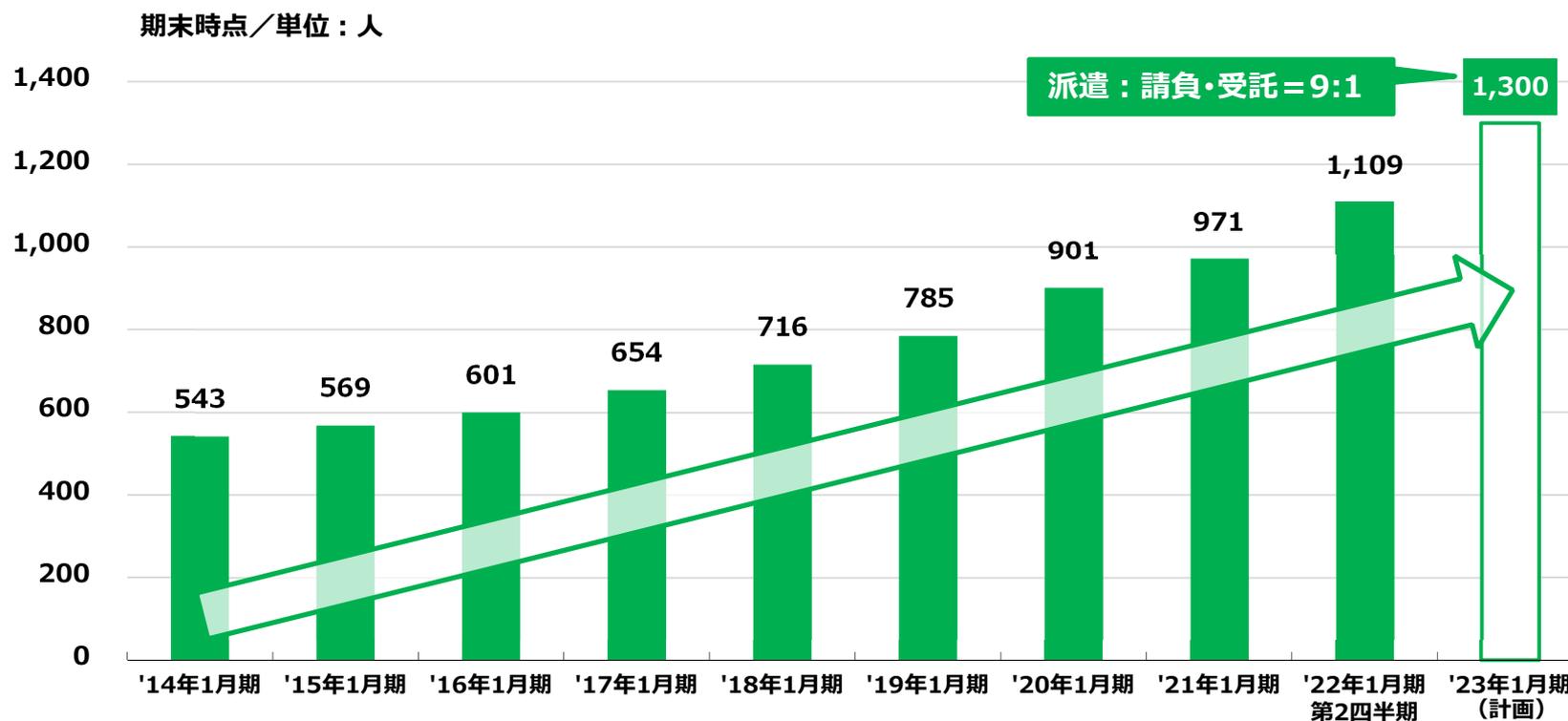
12.5 %

単位：百万円／%



コロナ禍の収束時期は、現時点では、不透明なため、2022年1月期の状況を踏まえて、2023年1月期の前提を改めて設定する可能性があります。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

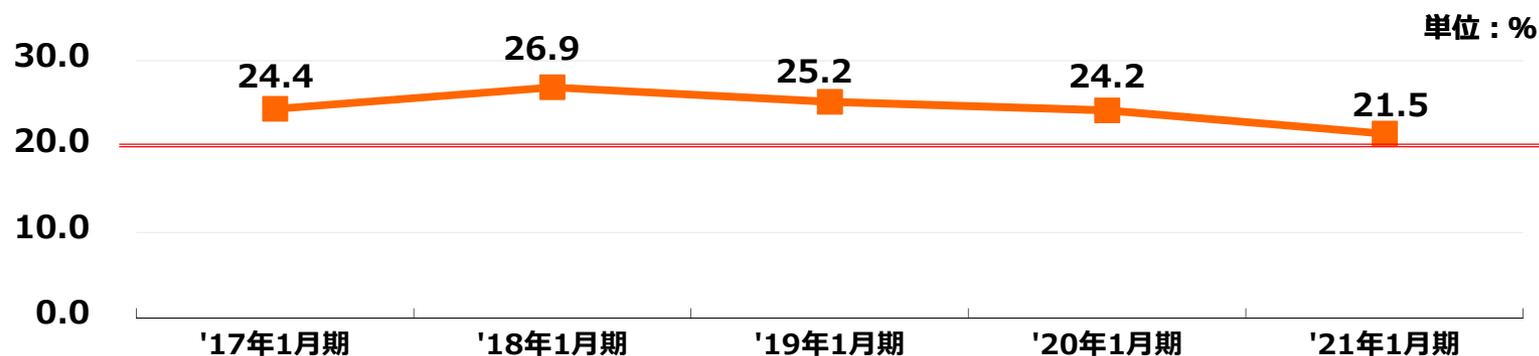
技術者数 **1,300 人**



経営数値目標〈2023年1月期（最終年度）重要指標〉

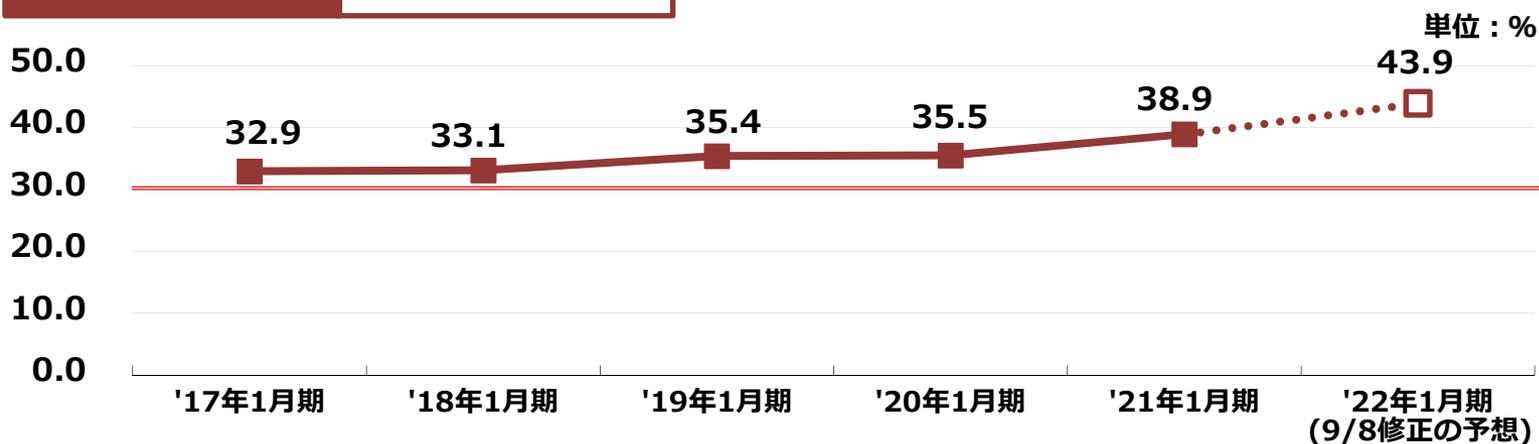
ROE

20 %以上



配当性向

30 %以上



<https://www.artner.co.jp/>

1 会社概要 P3

2 第60期（'22年1月期）第2四半期 決算概要 P19

3 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） P29

4 第60期（'22年1月期）業績予想、配当予想 P36

5 参考資料 P41

第60期（'22年1月期）業績予想(通期)の修正(2021/9/8)

第2四半期 当初予想と 実績の比較

- 売上高…稼働人員、技術者単価、労働工数が順調に推移。
- 利益面…売上高の増収に加え、スタッフのテレワーク推進等による販売管理費の削減効果。

業績予想 (通期)

- 第2四半期の業績が当初予想より順調に推移。
 - 2020年入社の新卒・キャリア技術者の未配属者の配属、2021年入社の新卒技術者の早期配属が順調に推移する見通し。
- 通期の業績予想を修正し、減益から増益に転換。

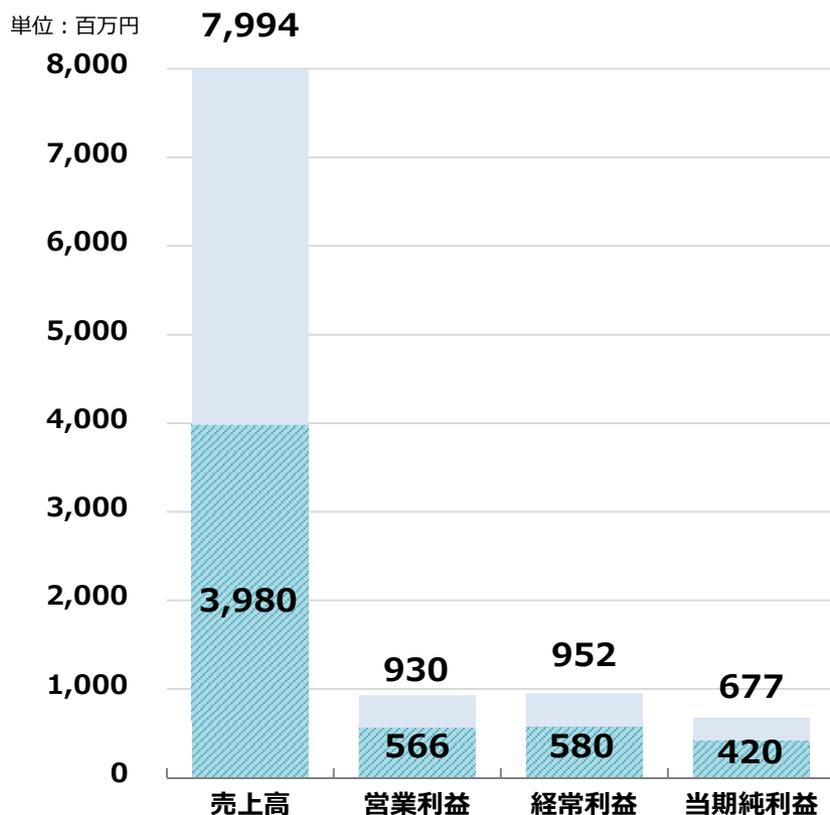
	'22年1月期						'21年1月期 実績 (百万円)	'22年1月期 今回修正予想 (2021/9/8) 通期 (百万円)	前年 増減値 (百万円)	前年 増減率 (%)
	前回発表予想 (2021/3/15)		今回修正予想 (2021/9/8)		前回 増減値 (百万円)	前回 増減率 (%)				
	通期 (百万円)	百分比 (%)	通期 (百万円)	百分比 (%)						
売上高	7,671	100.0	7,994	100.0	323	4.2	7,174	7,994	820	11.4
営業利益	809	10.5	930	11.6	121	15.0	887	930	43	4.9
経常利益	812	10.6	952	11.9	140	17.1	910	952	42	4.6
当期純利益	563	7.3	677	8.5	114	20.3	628	677	49	7.8

今回の修正
により
増益に転換

<https://www.artner.co.jp/>

第60期（'22年1月期）第2四半期 業績予想の進捗

■ 9/8修正の業績予想(通期)に対して、第2四半期実績の進捗率は、
売上高**49.8%**、営業利益**60.9%**、経常利益**60.9%**、当期純利益**62.0%**



	'22年1月期 第2四半期		
	実績 (百万円)	百分比 (%)	業績予想 (通期)進捗率 (%)
売上高	3,980	100.0	49.8
営業利益	566	14.2	60.9
経常利益	580	14.6	60.9
当期純利益	420	10.6	62.0

	'22年1月期 業績予想	
	通期 (百万円)	百分比 (%)
売上高	7,994	100.0
営業利益	930	11.6
経常利益	952	11.9
当期純利益	677	8.5

第60期（'22年1月期）配当予想

- 中間配当 …14.0円(当初予想11.5円より**2.5円増配**)。
- 期末配当 …14.0円(当初予想11.5円より**2.5円増配**)を予定。
- 年間配当金…28.0円(当初予想23.0円より**5.0円増配**)を予定。

	年間配当金 (円)			配当 利回り (%)	配当 性向 (%)	純資産 配当率 (DOE) (%)
	中間	期末	計			
'21年1月期	11.50	11.50	23.00	2.67	38.9	8.4
'22年1月期 (前回発表予想3/15)	11.50	11.50	23.00	2.84	43.4	
'22年1月期 (今回修正予想9/8)	14.00	14.00	28.00	3.46	43.9	

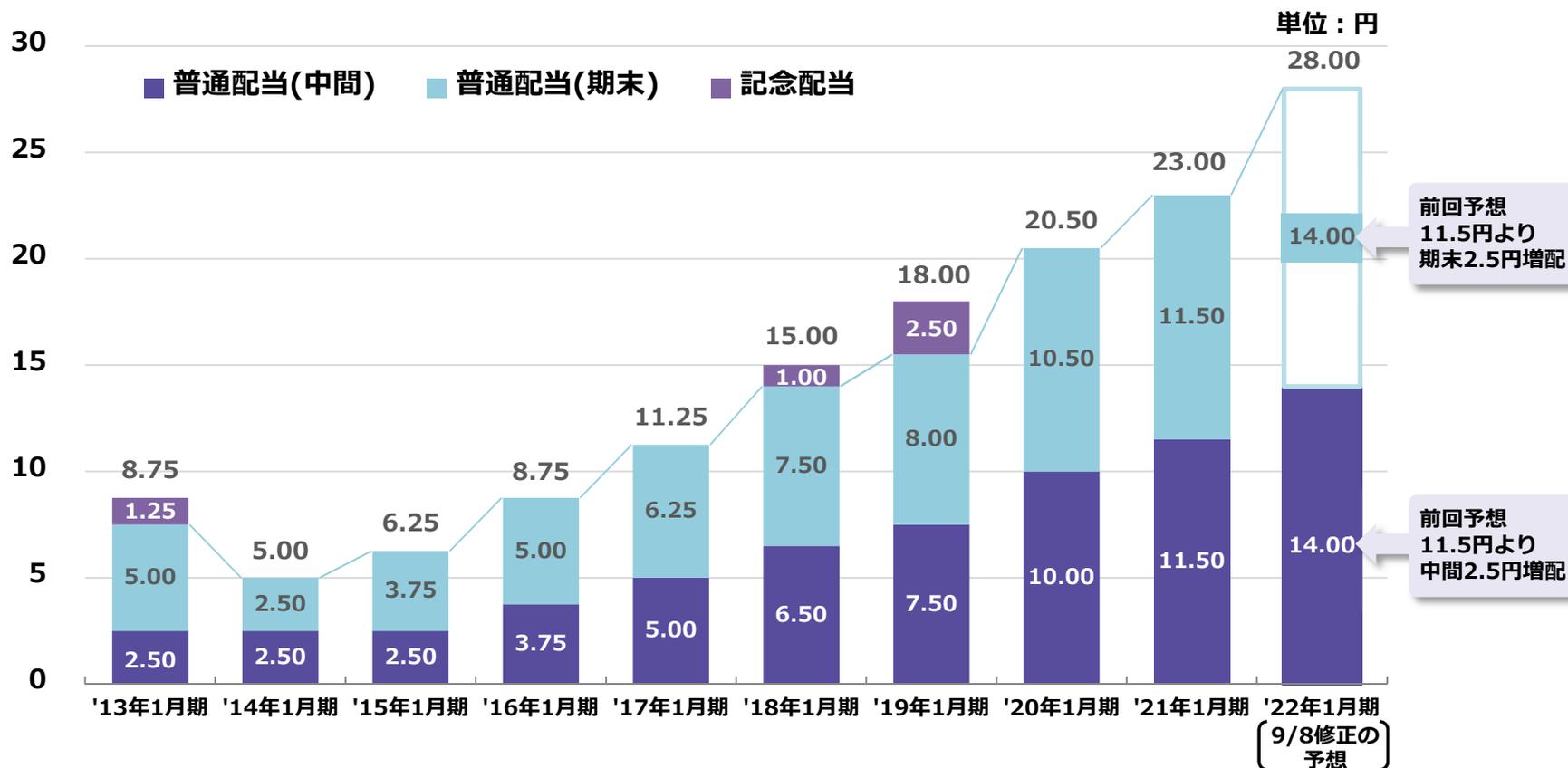
※配当利回り (%) = 1株当たり個別配当金(合計) ÷ 株価(期末/終値) × 100

'21年1月期 期末(2021年1月29日)終値 …………… 863 円

'22年1月期 第2四半期 期末(2021年7月30日)終値 …………… 810 円

1株当たり年間配当金 推移

■ 株主・投資家の皆様に安定的な配当を実施することを経営の最重要課題と位置づけ。



1株当たり配当金は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2017年2月1日(1株を2株に分割)／2018年4月1日(1株を2株に分割)

1 会社概要 P3

2 第60期（'22年1月期）第2四半期 決算概要 P19

3 中期経営計画（'21年1月期～'23年1月期） P29

4 第60期（'22年1月期）業績予想、配当予想 P36

5 参考資料 P41

基本方針

お客様、従業員、その家族、お取引先及びその他関係者の皆様の安全確保。
新型コロナウイルスの感染拡大防止並びに事業継続。

採用部門



採用目標数値の達成のため、Web会社説明会、Web面接等を実施。

営業部門



既存技術者の契約更新、新卒技術者の配属のため、Web会議ツールにてお客様と交渉。在宅勤務の技術者フォローを実施。

教育部門



新卒技術者の出社をシフト制として、在宅研修時に知識を向上させ、それを基に出社時に実習課題を行う。自主性を重んじた基礎・応用研修を実施。

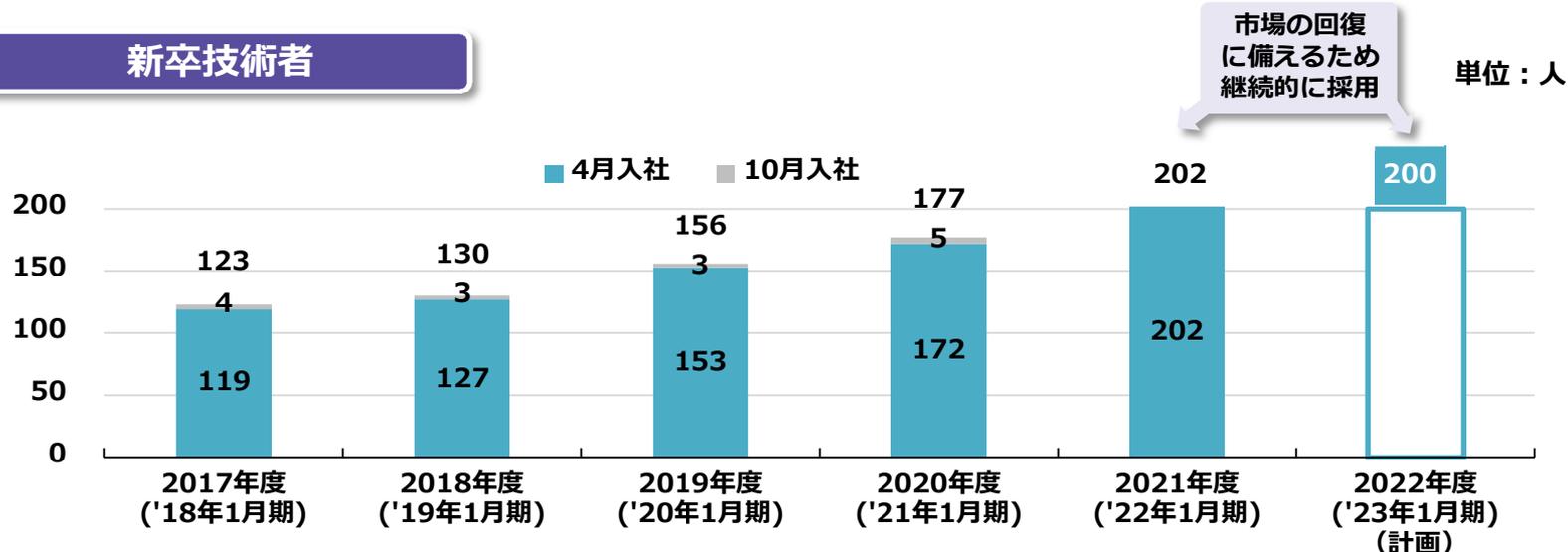
管理部門



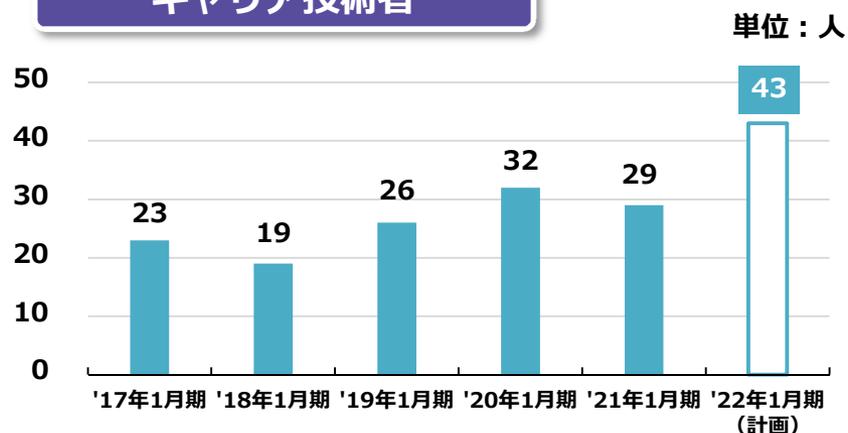
テレワーク(在宅勤務)、シフト勤務、時差出勤等の対応を実施。業務効率化の推進。

第59期（'21年1月期）技術者の採用人数／離職率

新卒技術者



キャリア技術者



離職率



第59期（'21年1月期）決算概要 売上高上位10社

■ 売上高 上位10社（敬称略）

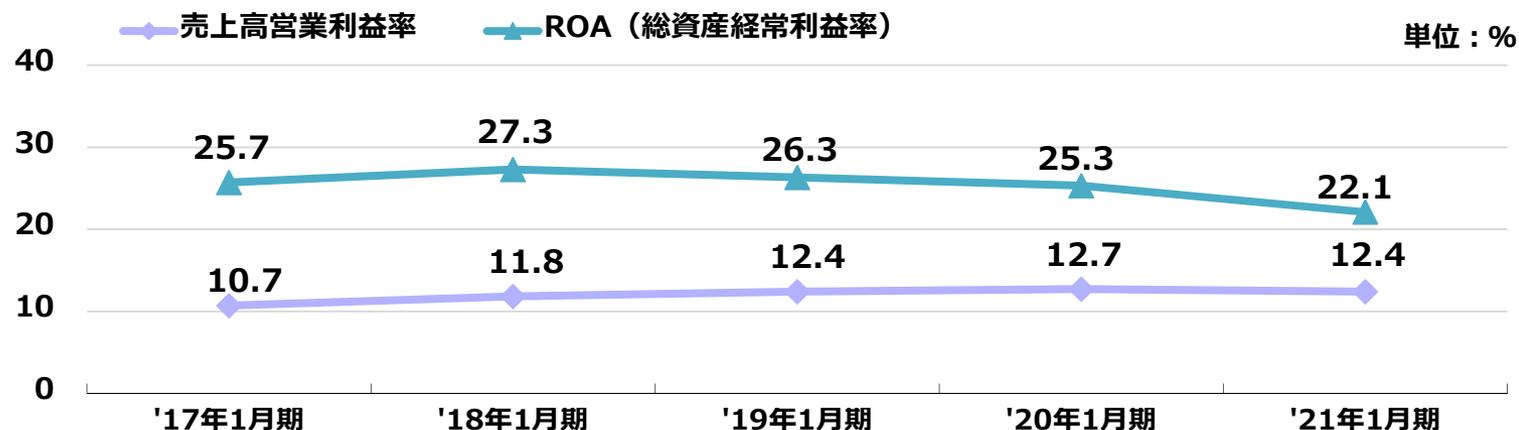
	'20年1月期		'21年1月期	
	顧客企業	業種	顧客企業	業種
1	本田技術研究所	輸送用機器	本田技術研究所	輸送用機器
2	ニコン	精密機器	本田技研工業	輸送用機器
3	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属	ニコン	精密機器
4	テルモ	精密機器	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属
5	パナソニック	電気機器	テルモ	精密機器
6	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	電気機器	デンソーテン	電気機器
7	デンソーテン	電気機器	パナソニック	電気機器
8	ジェイテクト	機械	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	電気機器
9	ダイキンレクザムエレクトロニクス	電気機器	ジェイテクト	機械
10	ケーヒン(現・日立Astemo)	輸送用機器	ダイキンレクザムエレクトロニクス	電気機器

■ 10社ごとの売上高

	'20年1月期		'21年1月期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)		
上位10社 計	3,332	47.7	3,394	47.4	1.9	▲ 0.3
上位11社~20社 計	890	12.8	977	13.6	9.7	0.9
上位21社~30社 計	583	8.4	655	9.2	12.4	0.8
上記以外 計	2,175	31.2	2,134	29.8	▲ 1.9	▲ 1.4
合計	6,981	100.0	7,162	100.0	2.6	—

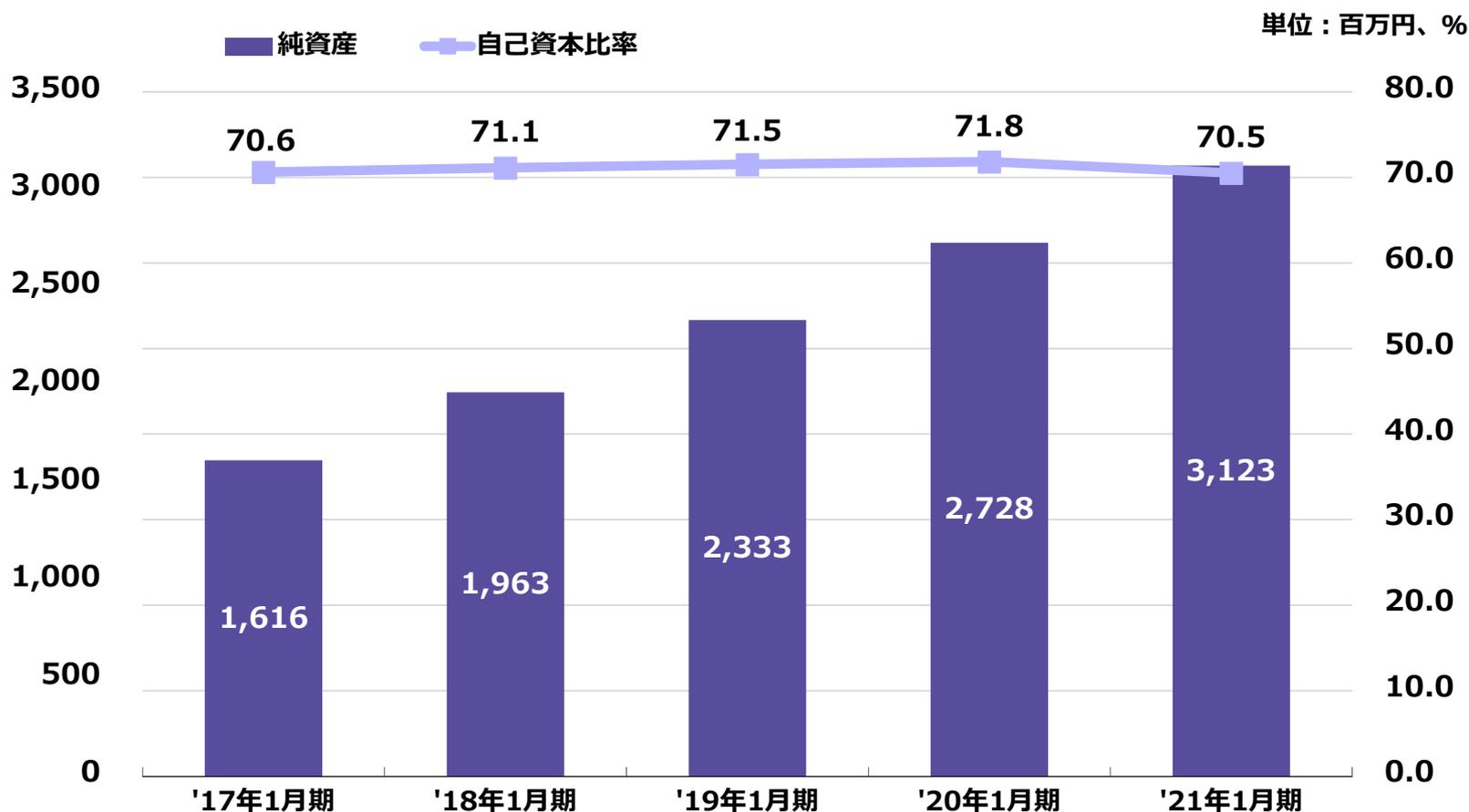
※「その他」売上除く

売上高営業利益率/ROA/1株当たり当期純利益・純資産 推移

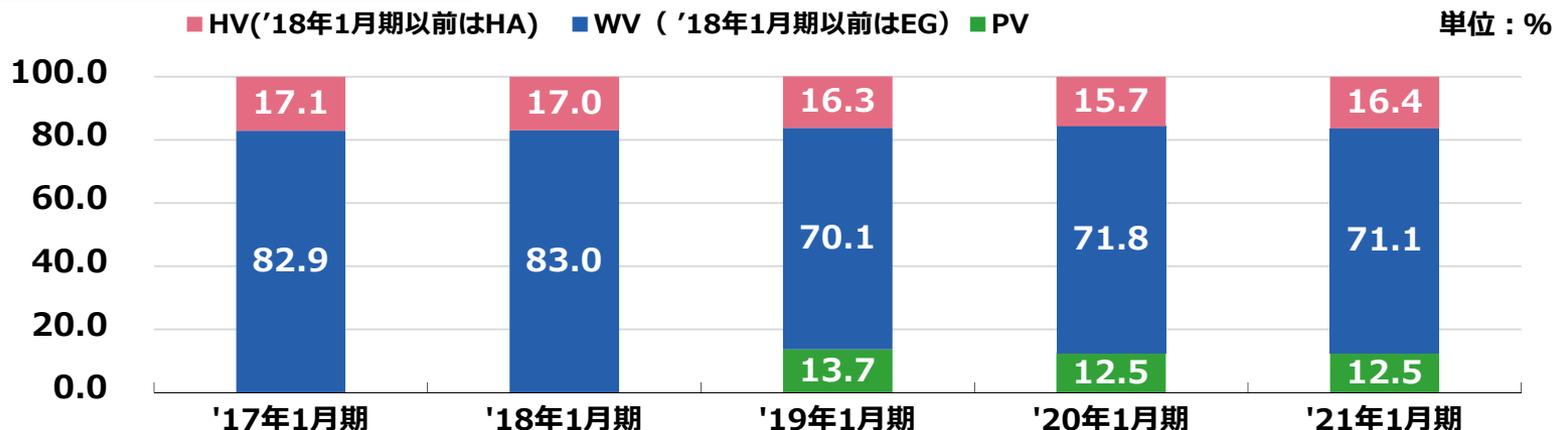


※1株当たり当期純利益、純資産は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2017年2月1日(1株を2株に分割)／2018年4月1日(1株を2株に分割)

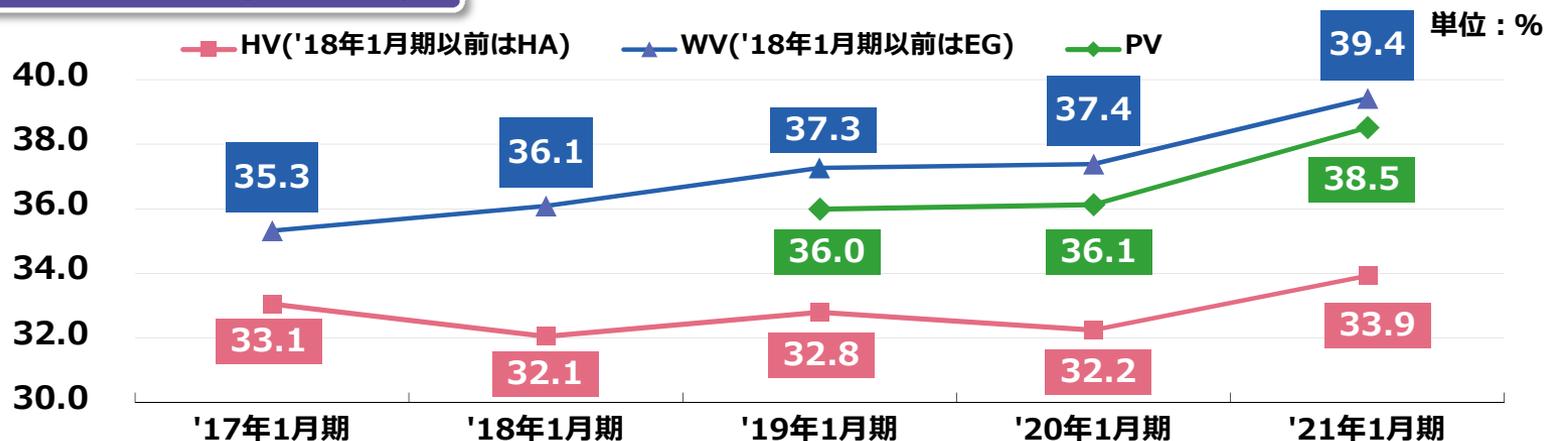
純資産／自己資本比率 推移



技術者の構成比



売上総利益率(技術者派遣)



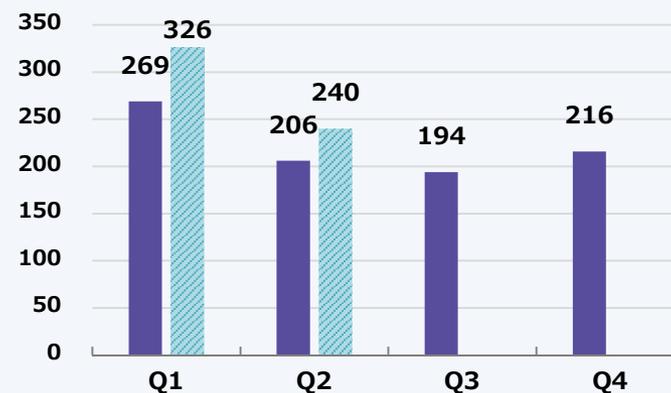
売上高

■ '21年1月期 ■ '22年1月期 単位：百万円



営業利益

■ '21年1月期 ■ '22年1月期 単位：百万円



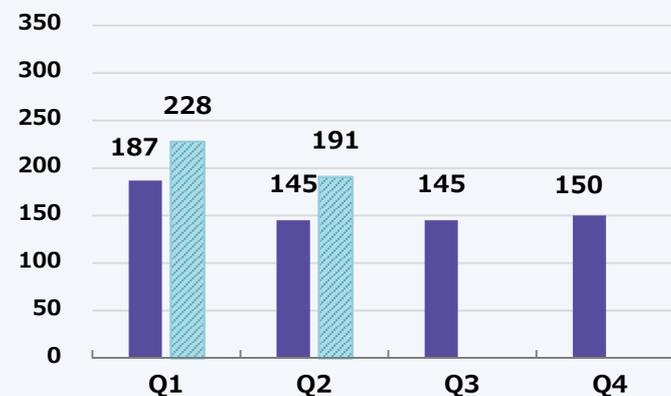
経常利益

■ '21年1月期 ■ '22年1月期 単位：百万円



四半期純利益

■ '21年1月期 ■ '22年1月期 単位：百万円



四半期（会計期間）業績推移 数値

2022年1月期

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期			
	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)												
売上高	2,003	100.0	6.9	25.1	1,976	100.0	11.1	24.7								
売上原価	1,197	59.8	4.4		1,281	64.8	16.6									
売上総利益	806	40.2	10.8		695	35.2	2.3									
販管費	480	24.0	4.8		455	23.0	▲4.0									
営業利益	326	16.3	21.1	35.0	240	12.2	16.6	25.9								
経常利益	329	16.4	21.8	34.6	250	12.7	19.5	26.3								
四半期純利益	228	11.4	22.1	33.7	191	9.7	31.7	28.2								

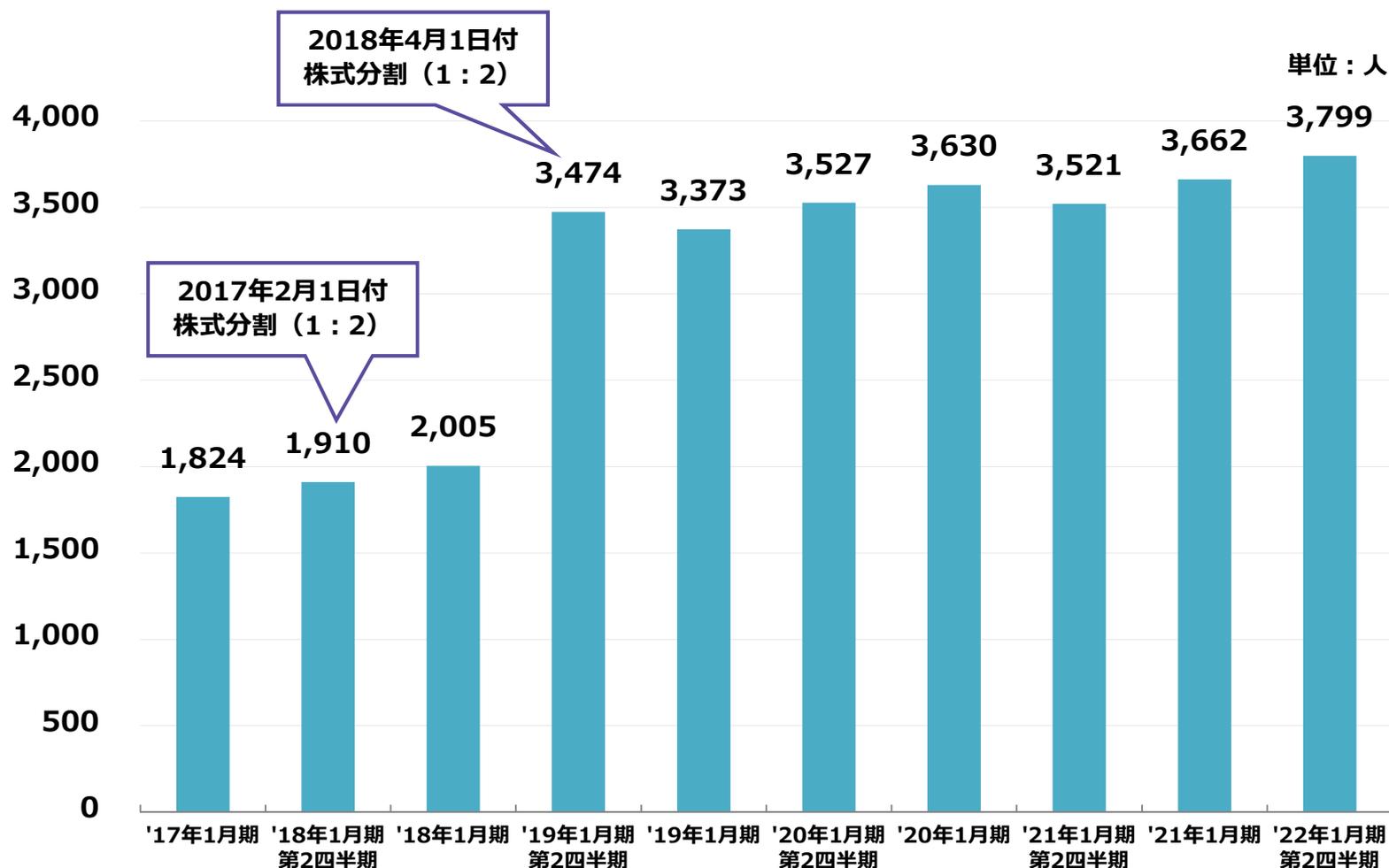
※① 9/8修正の業績予想(通期)における四半期ごとの構成比

2021年1月期

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期			
	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)												
売上高	1,874	100.0	15.8	26.1	1,779	100.0	0.9	24.8	1,740	100.0	▲2.8	24.3	1,779	100.0	▲2.7	24.8
売上原価	1,147	61.2	14.1	25.8	1,099	61.8	1.9	24.7	1,060	60.9	▲7.7	23.9	1,136	63.8	▲7.6	25.6
売上総利益	727	38.8	18.7	26.6	680	38.2	▲0.7	24.9	680	39.1	5.9	24.9	643	36.2	7.3	23.6
販管費	458	24.5	5.6	24.9	474	26.6	8.6	25.7	485	27.9	30.9	26.3	426	24.0	3.4	23.1
営業利益	269	14.4	50.5	30.4	206	11.6	▲17.0	23.3	194	11.2	▲28.3	21.9	216	12.2	15.8	24.4
経常利益	270	14.4	49.9	29.7	209	11.8	▲16.7	23.1	209	12.0	▲23.4	23.0	220	12.4	17.4	24.2
四半期純利益	187	10.0	50.3	29.8	145	8.2	▲16.5	23.1	145	8.3	▲23.3	23.1	150	8.5	20.2	24.0

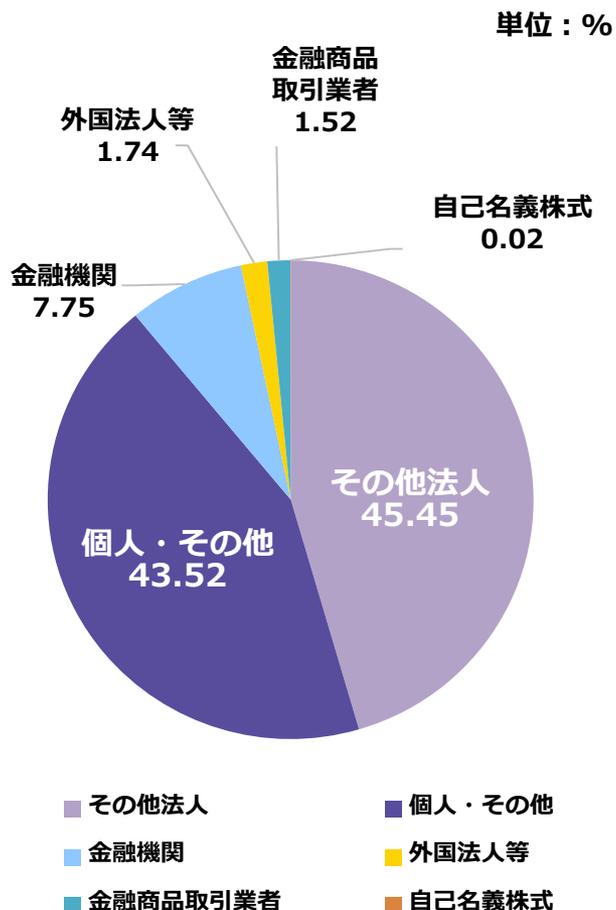
※② 通期業績における四半期ごとの構成比

期末株主数 推移

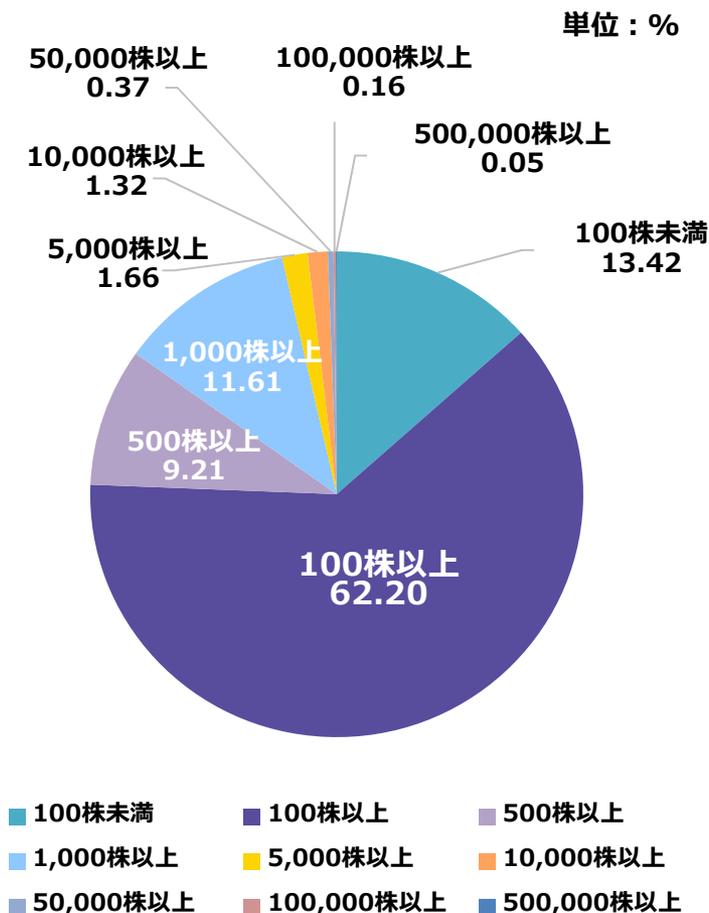


株主構成（2021年7月31日現在）

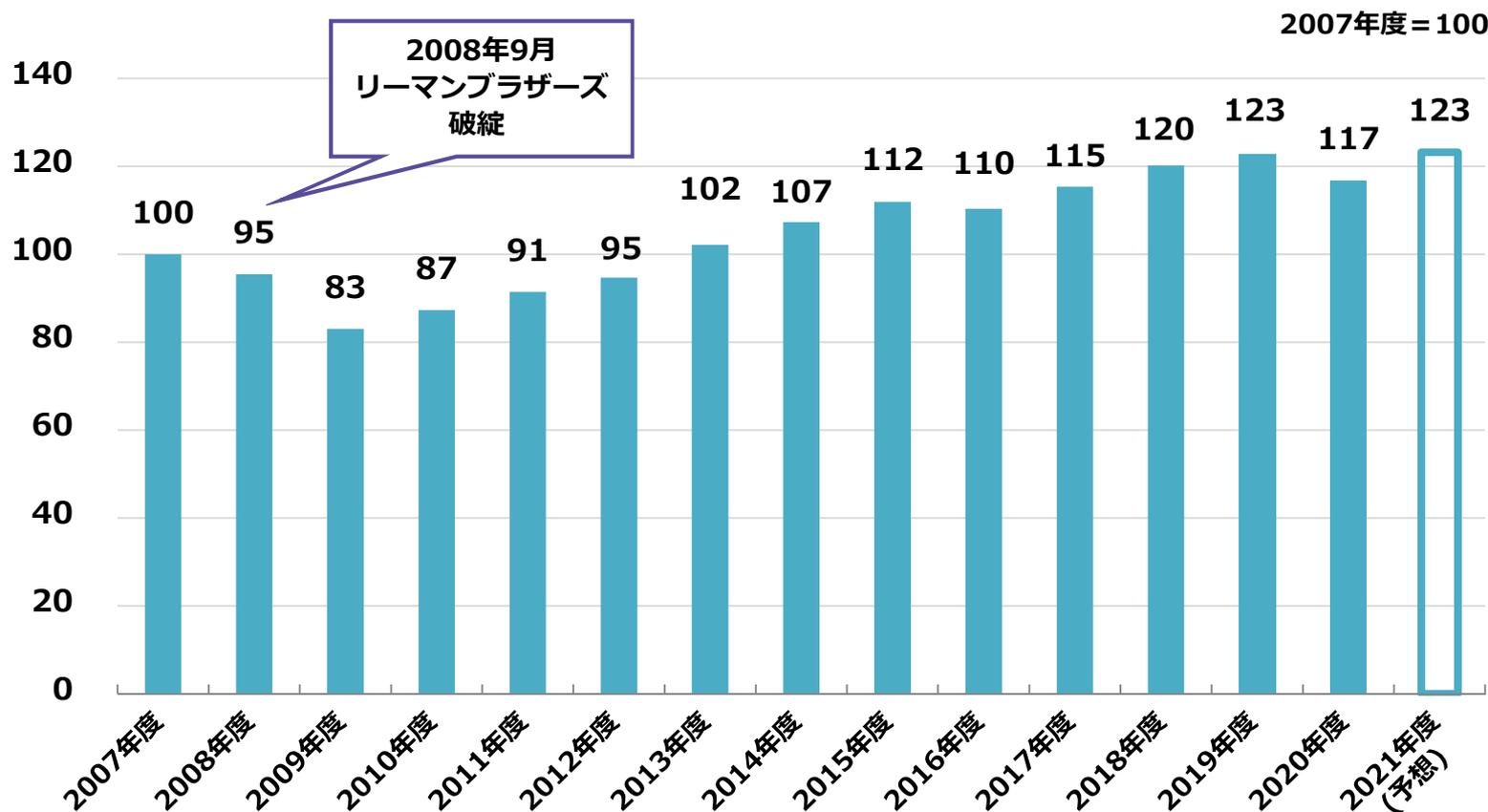
所有者別の株式分布



所有株式数別の株主分布



■ 顧客企業のメーカーの研究開発費は堅調に推移



※2007年度の指数値を100として算出。

※3月決算の上場している顧客企業の開示資料より集計。

名 称	株式会社アルトナー (英訳名 : ARTNER CO., LTD.)	
設 立	1962年9月18日 (昭和37年9月18日)	
代 表 者	代表取締役社長 関口相三	
株 式	東京証券取引所市場第一部 (証券コード : 2163)	
株 主 総 会	大阪にて開催	
資 本 金	2億3,828万4,320円 (2021年7月31日現在)	
本 社	東京 / 大阪	
事業拠点	横浜 / 宇都宮 / 大阪 / 名古屋	
研修拠点(LC)	東日本 / 西日本	
事業内容	1) 機械 2) 電気・電子 3) ソフトウェア	左記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
社 員 数	1,219人 (2021年7月31日現在)	
許 可 番 号	労働者派遣事業 (派27-020513) 有料職業紹介事業 (27-ユ-020355)	

本資料のお取り扱い

本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。

本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

(将来見通し)

本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じる事があります。

(数値の処理)

本文及び図表中の金額は、単位未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

IRメール配信

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の最新情報を配信（無料）
【登録URL】 <https://www.artner.co.jp/ir/mail/>



お問合せ先

株式会社 アルトナー 経営戦略本部 IR・PRグループ
TEL : 0570-00-2163 / E-mail : ir@artner.co.jp